



尾道瑠璃会報

336-C 3R.1Z. ONOMICHI RURI LIONS CLUB

2009年6月
NO.411

会長方針

拡げよう交流の輪

会長スローガン

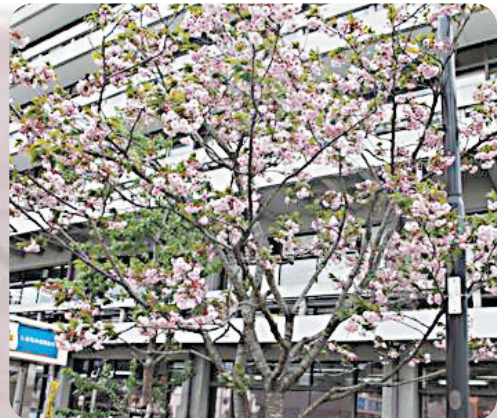
原点回帰

(みんなで考えよう
明日の瑠璃ライオンズ)

- 青い空、青い海、心にうるおいをあたえてくれる。これも瀬戸内の魅力の一つ。尾道に彩りをそえる瀬戸内。
- 題字は 故小林和作画伯



2009年4月10日
尾道大学内の「大村ざくら」を移植しました。



市役所前の「大村ざくら」。
今年もきれいに咲きました。



ちすい
千光寺公園の「千垂の桜」華やかに咲きました。



千光寺公園にて 観光客のスナップ
「大相撲尾道場所」横綱・大関手形石碑前にて

第110例会

2009年4月1日(水) 12:00~13:30
尾道ロイヤルホテル



会長挨拶 会長 葉名 範秀 さん



会員スピーチ (出席・情報・エクステンション委員会)



演題
「テレビ番組から」
柏原 重成 さん



演題
「じけん・ほうりつ
ざっくばらん
パートⅢ」
堀西 修 さん



誕生日のスピーチ 青澤 忠純 さん

モナーク・シェブロン贈呈

モナーク45年…宮本侑昂さん モナーク30年…福島征彦さん・小田原真吾さん
モナーク15年…大田貞男さん・豊田 豊さん モナーク10年…普家俊一さん



“原点回帰”(皆で考えよう)

45周年を迎えた我がクラブの、現状を認識し、問題点・課題を明確にし、明日の瑠璃ライオンズクラブの在り方を模索すべく、会員の意識確認も併せアンケートを実施し、その結果もまとまりました。その内容も踏まえ、まとめをさせていただきます。

まず、アンケートの回収率が47名中27名、57%という結果を、どのようにとらえるか、無関心の方も多量中、担当委員会の御努力で回答されたアンケートを真摯に分析させて頂きました。

最初に45年間のクラブ会員数の動向を振り返ってみますと、

45年前、	1963年(昭和38年)10月	51名でスタート
11年後の	1974年(昭和49年)	80名台となり
	1977年(昭和52年)マックス	89名となり
10年前の	1998年(平成10年)までは	80名台

その頃から、減少傾向となり、5年前には60名台して、現在は正会員37名・終身会員5名・優待5名・合計47名となっています。

この現状を踏まえ、クラブ運営自体が難しくなってくるのも時間の問題となっていることは、自明です。

45年を迎え正にターニングポイントの年となっている。

そこで、今年度、訴え続けたことは、現状を直視し危機感を持ち、会員のモチベーションを高めることを第一とし、そのことが会員数増強につながることを信じ、活動しました。

我がクラブの現状は、10年前より会員数の減少傾向に歯止めが掛からない中、従来の運営、事業を踏襲して来ている。チャリティー講演会は中断したが、多くの事業は従来の形態である。これにも見直しが迫られるであろう。

又、半数近い入会10年未満の会員は、多人数での例会を体験していないのが現状で、多人数の例会のマン

第1111例会

2009年4月17日(金) 19:00~20:15
尾道ロイヤルホテル

尾道みなとライオンズクラブ 第850回例会にビジターとして参加



第1112例会

2009年5月13日(水) 12:00~13:30
尾道ロイヤルホテル



ゲストスピーチ

NPO法人
尾道空き家再生プロジェクト
代表理事

豊田 雅子 さん

演題

「空き家再生からの
尾道のまちづくり」



次期委員会
構成(案)発表

次期会長

大谷 治 さん

明日の瑠璃ライオンズクラブまとめ

も再現したいという思いから、我がクラブのジブシー化を宣言し、訪問例会、合同例会を積極的に企画・実施しました。その中で、ライオンズのバリアフリー化を訴え、お互いが気楽に相互乗り入れを提案し、最近は、ライオンズのTRANSFORMの運営(各クラブの独自性、独立性は尊重しながら、運営・事業を共同で企画実施し、経費の圧縮に勤め、お互いにメリットを生み出そうという考え方)を提案させて頂きました。

アンケートの結果より、会員の皆様のクラブに対する認識、価値観を垣間見ることが出来ました。そこで、今後の取り組みとして、

1、会員のモチベーションを高める。危機感共有、共通認識が必要

1、少人数の中での、運営・事業の在り方の検討

1、会員大幅増強が理想ではあるが、その方法実践には難しい問題も多い。例えば、各自1名推薦し、入会が適えば、立ち所に会員数は倍になるはずではあるが、

組織的に新入会員獲得のアクションを起こし、たゆまない努力をすることが、現状で出来る最善の策であろう。

1、ライオンズクラブ(運営/事業)のTRANSFORM化の検討。他クラブと積極的な交渉をし、同調・共鳴して頂くことが必要。

1、補正は、可能な限り他クラブで行う。

1、例会の工夫。

(より参加したくなるような、魅力ある例会作り)
例会時間の短縮も一考。(他クラブは1時間以内も多い)

他クラブでは実施の、200%例会、スポーツ例会も検討の余地あり。

以上、私的な意見もかなりはありますが、まとめとさせていただきます。

1年間、ありがとうございました。

尾道瑠璃ライオンズクラブ会長 葉名 範秀

第113例会

2009年5月20日(水) 12:00~13:30
尾道ロイヤルホテル



事業委員会年次報告 YE・国際協調・平和・LCIF委員会活動報告
2008年度社会奉仕特別委員会 第二副会長 大田 貞男 さん



市民・教育・青少年育成
薬物乱用防止委員会
佐藤 博昭 さん

リレーション委員会
普家 俊一 さん



「明日の瑠璃ライオンズを考える会」 「明日の瑠璃ライオンズを考える会」
会員・会則・指導力育成委員会 司会進行をする
福田 隆 さん 大宮 正弘 さん



福祉・環境・保健委員会
豊田 豊 さん

献眼・献血・献腎
アイヘルス委員会
坂本 清登 さん



336-C地区 第55回年次大会

府中市文化センター・府中市立総合体育館ウッドアリーナ



4月12日(日)府中市にて開催の「336-C地区第55回年次大会」
に参加しました。

尾道LC CN50周年記念大会



4月18日(土)西山別館にて開催された「尾道LC CN50周年大会」に参加しました。



2008.7~2009.6
336-C地区スローガン
「心をひとつに

明るい日本の未来を !!」

地区ガバナー きつ たか 橘高

かおる 馨 (府中中央LC 2R・2Z)

尾道瑠璃ライオンズクラブ事務局

〒722-0035 広島県尾道市土堂2丁目10-3
尾道商工会議所ビル3階

TEL(0848)23-2222 FAX(0848)23-3333

ホームページ <http://www.urban.ne.jp/home/rurilion/>

Eメール rurilion@urban.ne.jp